

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	分葉状頸管腺過形成 (LEGH) の臨床細胞学的検討
	研究目的	分葉状頸管腺過形成 (LEGH) は、粘液分泌の亢進した異型性に乏しい高円柱状上皮細胞からなる腺管の分葉状増殖を特徴とする良性増殖性疾患であるが、上皮内腺癌 (AIS) や粘液性腺癌、最少偏倚腺癌などの悪性疾患と混在することもあるため、子宮頸部細胞診検査において、LEGH に合併した腫瘍や異型病変を指摘することは重要である。今回、組織学的に LEGH と診断された症例について臨床的背景、細胞学的所見を検討し、合併病変検出における細胞診の有用性を明らかにする。
	研究対象者	2012 年 1 月から 2018 年 10 月までに LEGH と組織診断された 7 例
	研究期間	西 暦 2019 年 3 月 6 日 ~ 西 暦 2019 年 6 月 30 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物 (尿・便) <input type="checkbox"/> その他 (記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	神奈川県立がんセンター 婦人科 小澤雅代
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	婦人科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	なし